

「耕作実態調査」

東大阪市 経済部 農政課

平成28年8月

□高齢・少子化社会が進むも、本市の農業についても後継者の問題をはじめ、将来の農業をどうしていくのか、といった課題があります。

□また、高齢やケガ・病気により定植・収穫・出荷時期等で農作業が困難になる農家が増加するも、農業に関心があり農家の手助けをしたい市民・消費者と、生産者の双方が、有効に農家・農業を支援するシステムの構築により、生産者と市民・消費者が農に携わり、農地を守り・育てる施策が今、重要であると考えています。

□質問の内容により、該当する□に、ご記入もしくは☑を入れてください。

問1 このアンケートにご記入いただく方の性別をお教えてください。該当するところに☑を入れてください(複数選択不可)

男 女 その他

問2 このアンケートにご記入いただく方の年齢をお教えてください。該当するところに☑を入れてください(複数選択不可)

10~20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代以上

問3 農地面積は何アールですか □に数字をご記入ください (1アール=100㎡≒30坪)

アール

問4 現在、農地の何割で栽培されていますか □に栽培されている割合を数字(10~0)でご記入ください

割で栽培している

□以下の欄は、現在耕作を休んでいる方も、記入できる箇所があれば、ご記入をお願いします。

問5 農作業は日頃何人で作業していますか 該当する年代別の□に人数をご記入下さい

10~20代 人 30代 人 40代 人 50代 人
60代 人 70代 人 80代以上 人

問6 耕作される上で、誰かに手助けを頼んでいますか 該当するところに☑を入れてください(複数選択不可)

頼んでいる 頼んでいない

頼んでいる場合は、誰に頼まれていますか 該当するところに☑を入れてください(複数選択可)

親戚・知り合い等 農協 NPO法人、ボランティア団体等

その他(具体的に記入できればお願いします)

(裏面もご記入をお願いします)

問7 もし、農産物を栽培される上で、手助けをする仕組みや制度が利用出来れば使いたいと考えますか 該当するところに☑を入れてください(複数選択不可)

利用したい 利用したいと思わない

利用したい場合は、手伝いに来られる方はどんな方であれば、利用されますか、該当するところに☑を入れてください(複数選択可)

農作業をよく知っている人 経験はないが指示通りに作業をする人 経験のない大学生

何らかの障害があるが、ある程度の作業が出来る人

問8 手助けが欲しい作物は何ですか 該当するところに☑をご記入ください(複数選択可)

米 野菜 花 いちじく、ぶどう等の果樹 その他(作物名:)

問9 手伝ってほしい作業は何ですか 該当するところに☑をご記入ください(複数選択可)

耕運 田植え 種まき・苗植え 草刈り・草ひき

水やり 稲刈り 収穫 荷揃え、包装、出荷作業

その他(具体的に記入できればお願いします)

問10 将来、農業を引継ぐ後継者はいますか 該当するところに☑を入れてください(複数選択不可)

現在、農業を継承している

農業を継ぐ意欲を持っている後継者はいる

後継者はいない (もしくは、後継者はいるが継承してくれない)

問11 後継者の有無にかかわらず、将来あなたの地域で農地の借り手・担い手があれば、農地を貸してもいいですか 該当するところに☑を入れてください(複数選択可)

市民農園として運営が可能であれば検討する

農業に意欲ある担い手があれば貸してもいい

今のところは、貸す気持ちはない

将来的には農業はやめたい

※ご協力たいへん、ありがとうございました。